



村章

広報

# なまじん

1990年

10月

No. 179

毎月1日発行



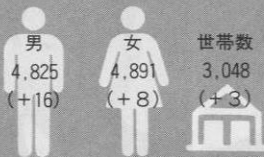
敬老の日の9月15日、村では100歳以上の方に記念品を贈呈。  
上間博安村長から記念品を受けとる104歳の嘉陽マツさん。

## 長寿今帰仁一は104歳の嘉陽マツさん

長寿今帰仁一は嘉陽マツさん百四歳。長寿の秘けつはと尋ねると、毎日きちんと食事をとることと散歩をすること。天気がいいと友だちの来年米寿を迎える嘉陽カメさんの家まで出かけ、茶のみ話に花が咲く。好物は豚肉で、なかでも、三枚肉が一番とのこと。

マツさんは明治十九年一月九日、小浜守勇、ウトさんの次女として湧川で生まれ、二十歳で嘉陽宗徳さんと結婚。玉城で過ごしたあと七十一年前に呉我山に移り、宗徳さんと農業に従事。現在は長男の宗勇、ナエさん夫婦、孫の宗丘、洋子さん夫婦と住み、楽しみは孫たちにお小遣いをあげること。子供四人、孫二十六人、曾孫五十三人、玄孫一人に囲まれ、一家の最長老として自分の意見をはっきりとのべる元氣なおばあさんです。きれいなマツさんは今日も自分の洗濯物の洗濯に余念がない。

今帰仁村の人口  
平成2年8月31日現在



村の人口 9,716(+24)



九月十七日午後二時からコミニティセンターで当選証書交付式が行われ、嘉陽宗武村選挙管理委員長より二十人の各議員に証書が交付されました。

交付式で、嘉陽委員長は「村民の一票を深く心にきざみ村勢発展に尽くしてほしい」とあいさつ。また、上間博安村長も「互いに手を取り合って村民の幸せ、福祉増進にがんばっていただきたい」と激励しました。これを受け議員を代表し、島田清仁氏は「明るく住みよい村づくりに取り組む決意です」と抱負を語りました。

▶当選証書交付式



## 新議員に 当選証書を交付



嘉陽宗一(65)  
吳我山10



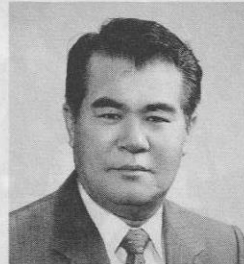
小波津忍(56)  
古宇利1125



島田清仁(67)  
与那嶺45



嘉陽宗敬(42)  
湧川1771



運天政徹(51)  
運天1201



照屋晃(52)  
渡喜仁259

### 今帰仁村議会議員選挙得票数

| 氏名    | 所属 | 字名  | 得票数     |
|-------|----|-----|---------|
| 大城幸治  | 無新 | 今泊  | 367     |
| 喜屋武治  | 共現 | 仲尾次 | 330     |
| 仲原正春  | 無新 | 今泊  | 329     |
| 国吉宗定  | 無現 | 謝名  | 320     |
| 與那嶺吉正 | 無現 | 渡喜仁 | 309.390 |
| 宮城康吉  | 無現 | 天底  | 299     |
| 與那嶺好和 | 無新 | 仲宗根 | 298.340 |
| 座間味栄立 | 無現 | 上運天 | 298     |
| 石嶺光敏  | 無現 | 平敷  | 293     |
| 澤岷安博  | 無現 | 湧川  | 285     |
| 與那嶺幸人 | 無現 | 崎山  | 282.268 |
| 島袋輝志雄 | 無現 | 諸志  | 282     |
| 山城正   | 無現 | 諸志  | 280.503 |
| 山城辰雄  | 無現 | 仲尾次 | 276.496 |
| 小波津忍  | 無新 | 古宇利 | 273     |
| 嘉陽宗一  | 無現 | 吳我山 | 261.011 |
| 嘉陽宗敬  | 無現 | 湧川  | 258.988 |
| 島田清仁  | 無現 | 与那嶺 | 256     |
| 照屋晃   | 無現 | 渡喜仁 | 249     |
| 運天政徹  | 無現 | 運天  | 248     |
| 新城安昌  | 無元 | 玉城  | 237     |
| 松本光弘  | 無現 | 仲宗根 | 236     |

投票総数 6,324票 有効票数 6,269票 無効 55票

### 投票場別投票数及び投票率

| 投票区   | 男女 | 当日有権者 | 投票者   | 棄権者 | 投票率   |
|-------|----|-------|-------|-----|-------|
| 第1投票所 | 男  | 1,184 | 1,091 | 93  | 92.15 |
|       | 女  | 1,209 | 1,145 | 65  | 94.63 |
|       | 計  | 2,393 | 2,236 | 158 | 93.40 |
| 第2投票所 | 男  | 804   | 721   | 83  | 89.68 |
|       | 女  | 865   | 835   | 30  | 96.53 |
|       | 計  | 1,669 | 1,556 | 113 | 93.23 |
| 第3投票所 | 男  | 700   | 658   | 42  | 94.0  |
|       | 女  | 750   | 725   | 25  | 96.67 |
|       | 計  | 1,450 | 1,383 | 67  | 95.38 |
| 第4投票所 | 男  | 494   | 440   | 54  | 89.07 |
|       | 女  | 470   | 439   | 31  | 93.40 |
|       | 計  | 964   | 879   | 85  | 91.18 |
| 第5投票所 | 男  | 165   | 145   | 20  | 87.88 |
|       | 女  | 133   | 125   | 8   | 93.98 |
|       | 計  | 298   | 270   | 28  | 90.60 |
| 合計    | 男  | 3,347 | 3,055 | 292 | 91.28 |
|       | 女  | 3,427 | 3,269 | 159 | 95.36 |
|       | 計  | 6,774 | 6,324 | 451 | 93.34 |

# 村議会議員二十一人決まる 投票率は九三・三四%



▲開票は多くの村民の見守りで行われた

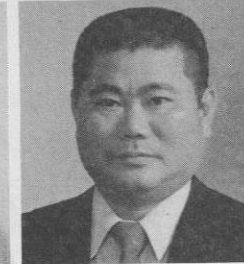
九月四日告示された今帰仁村議会議員選挙は、九月九日午前七時から村内五ヶ所の投票所で投票、翌九月十日午前八時三十分よりコミュニティセンターにおいて開票されました。二十の議席に対し、二十二人が立候補する少数激戦の結果、現職十六人、新人四人の方々が当選しました。

投票率は九三・三四%と地域で関心の深い選挙だけに、高い投票率を記録しました。

当選した議員は、今後四年間、村民の信託を受けて、今帰仁村の発展に向け、住民の代表として活躍が期待されます。



国吉宗定(59)  
謝名125



仲原正春(45)  
今泊3158



喜屋武治樹(39)  
仲尾次92



大城幸治(41)  
今泊3002



石嶺光敏(37)  
平敷1053



座間味栄立(42)  
上運天1269



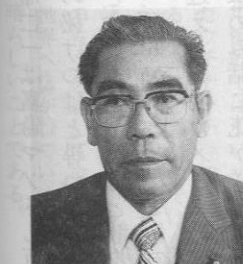
與那嶺好和(38)  
仲宗根205



宮城康吉(47)  
天底887



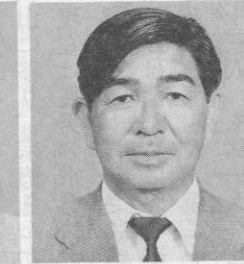
與那嶺吉正(52)  
渡喜仁257



山城辰雄(61)  
仲尾次70



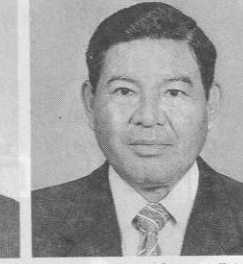
山城正(52)  
諸志449



島袋輝志雄(57)  
諸志171



與那嶺幸人(43)  
崎山255



澤岷安博(57)  
湧川78



### 民生児童委員と担当地区

| 氏名    | 住所        | 担当地域   | 電話      |
|-------|-----------|--------|---------|
| 上間花子  | 今泊3115    | 今泊(西)  | 56-3628 |
| 上間政春  | 今泊151     | 今泊(東)  | 56-2731 |
| 宮城春子  | 諸志25      | 兼次・諸志  | 56-3973 |
| 金城新治  | 与那嶺88     | 与那嶺    | 56-4774 |
| 田場盛松  | 仲尾次553    | 仲尾次    | 56-4050 |
| 平良清松  | 崎山626     | 崎山     | 56-4537 |
| 嘉数義子  | 越地123     | 平敷・越地  | 56-2713 |
| 玉城助一  | 謝名1198    | 謝名     | 56-2373 |
| 立津政好  | 仲宗根291-14 | 仲宗根(西) | 56-3335 |
| 松田千代  | 仲宗根188    | 仲宗根(東) | 56-2428 |
| 嘉陽宗栄  | 玉城13      | 玉城     | 56-3488 |
| 嘉陽宗平  | 呉我山421    | 呉我山    | 56-3143 |
| 伊佐トヨ  | 湧川1728    | 湧川(西)  | 56-4070 |
| 嘉陽宗三  | 湧川586     | 湧川(東)  | 56-3102 |
| 伊是名ツル | 天底168     | 天底     | 56-3711 |
| 嘉陽富子  | 天底131     | 勢理客    | 56-2537 |
| 与那嶺安子 | 渡喜仁1132   | 渡喜仁    | 56-4753 |
| 長濱富美子 | 上運天475    | 上運天    | 56-3005 |
| 運天邦子  | 運天1062    | 運天     | 56-2261 |
| 金城栄   | 古宇利1496   | 古宇利    | 56-3124 |



◀ 定例会で職務のすすめ方について協議



## 民生児童委員は気軽に相談相手

### その役割と目的

民生児童委員は、厚生大臣から委嘱されるボランティアで、「社会奉仕の精神」を以って地域福祉の増進にその力を捧げることを任務としております。

民生委員と児童委員は、ひとり両委員を兼任するようになっていて、任期は三年、全国で十八万余人(沖縄県千六百余人)が今帰仁村では、現在二十人がその任務に当たっております。

また、民生委員法第二十条に基づいて、村民生児童委員協議会(略称村民児協)を構成し、事務局を村社会福祉協議会において、月一回の定例会で、その職務に関する連絡提携を図りつ

つ、住民と行政を結ぶパイプの役割をもち、次のとおり諸活動を遂行しています。

一、調査活動  
高齢者、児童、障害者、母子父子、要援護者世帯等を調査し生活実態や問題点を的確に把握する。

一、保護指導活動  
友愛訪問活動、歳末助け合い物品配布などの経済的、精神的保護を行う。

一、社会福祉施設との連絡等  
老人ホームや各施設への入所相談を受ける。

一、福祉事務所等関係行政機関の業務に対する協力

事実確認等の証明事務や調査、一、低所得者層の援助活動、生活福祉資金借入相談と償還指導、生活保護受給相談や更生、自立指導。

一、心配ごと相談事業  
相談所における専任相談員(四名)と連携しての身のまわりのあらゆる相談に応じている。

一、県内外研修会や全国大会への参加、他民児協との交流会、一、赤い羽根共同募金運動、並びに歳末助け合い運動への協力。その他、社会福祉協議会や役場、教育委員会など各団体の開催する行事への参加。

それら老人ホ

一ムでのおむつたみ、福祉バザーやふれあい給食サービスの配食ボランティア活動も積極的に進んでいます。

このように、民生児童委員は地域の福祉サービスの中心的推進者として社会福祉協議会や行政機関と連携して援護を必要とする世帯のネットワークづくりを進め、福祉に欠ける人々に対して適切な援助を行うことで世帯を更生させることを活動の大きな目的としています。どうぞ日常生活での悩みごとや福祉問題について、お気軽にご相談ください。

## みんなで築こう 明るい長寿社会

敬老会で長寿祝う  
90歳以上の方は112人

長寿を祝う村主催による敬老会が敬老の日の九月十五日午後二時からコミュニティセンターで行われ、約五百五十人の高齢者と来賓多数が出席し、楽しいひとときを過ごした。

主催者代表の上間博安村長は「私たちの今帰仁村がこのように発展したのは、皆様方の手に汗した多くの努力があったからこそ成し得たことであり、心から敬意と感謝を申し上げます。これからも積極的に社会に参加され、明るく楽しい老後をお過ごしください」とあいさつ。次いで山城辰雄議長、辺土名浩北

部福祉事務所長らの祝辞と大城秀昭県議会議員のメッセージがあった。また、「感謝のこぼれ」として兼次小学校六年生の島田美和さんが「これからも元気に長生きして私たちを見守ってください」とおじいさん、おばあさんに話しかけると会場から大きな拍手があった。

このあと、砂辺民謡研究所(代表者喜屋武繁雄)による「島の初春」あやかり節」などの民謡と琉球舞踊の「繁昌節」「花笠節」があり会を盛り上げた。

村内の六十五歳以上の方々は千八百二十九人で全人口の十八・八二%。そのうち九十歳以上の高齢者は百十二人。百歳以上の高齢者は百四歳の嘉陽マツさん(明治十九年一月九日生まれ)、百一歳の上間マツさん(明治二十二年五月三日生まれ)、百歳の渡名喜マツさん(明治二十三年一月十五日生まれ)と当銘カミさん(明治二十



▲「元気に長生きを」コミュニティセンターで行われた敬老会



嘉陽マツさん(104歳) 呉我山22

三年三月二日生まれ)、それに上間マツさん(明治二十三年七月五日生まれ)の五人の方々となっています。

百歳以上の方は五人



渡名喜マツさん 100歳 仲尾次16



上間マツさん 101歳 今泊3115



上間マツさん 100歳 今泊3075



當銘カミさん 100歳 今泊2026

あなたも応募しませんか

## 第8回 今帰仁村文化祭

11月3日(土)～11月4日(日)開催

恒例の今帰仁村文化祭が第八回目を迎え、十一月三日(土)、四日(日)の両日コミュニティセンターと中央公民館を会場に開催されます。

舞台発表は保育園児の踊りや各字に伝わる伝統芸能、小中学生の器楽演奏や吹奏楽、民謡、琉球古典音楽など日頃の練習の成果を披露します。また、作品展示は絵画、書道、写真、陶芸、染織、民芸、盆栽、生花、それに給食展示、試食コーナー、映画会などが予定されています。

これから準備して充分間に出展してみたいかがでしょうか。詳しいことについては教育委員会までお問い合わせください。

電話 五六二二六四五  
五六二二六四七



はじめに

昨年三月、上間村長から議会史編集のため、委員として六名が委嘱されました。

あれから十八ヶ月、平成二年九月「今帰仁村議会史」が厚手で気品溢れる装丁で誕生しました。議会史の持つ意義や、内容については、山城辰雄編集委員長のあいさつや、上間博安村長の御祝辞の中に、余すところなく述べておられますので、その原文をそのまま掲載できたらそれにこしたこ

# 今帰仁村「議会史」刊行される

## 今帰仁村議会史編集委員会編纂

とはありませんが、それは叶いませんので、ここで「議会史」の概要を申し上げ、皆さんに一度は目を通していただきたいと思えます。そしてそれが村政に対する理解と、発展につながることにしなければ幸いです。

今帰仁の美しさと文化の豊かさに心うたれる本です

先ず本を開きますと「史跡と文化の村、今帰仁の姿」という大きな文字が目にとび込んできます。そして村章、村歌、乙羽

岳からのみどり豊かな村の眺望

今帰仁のシンボルである樹木や花や鳥、つづいて国指定史跡北山城跡をはじめ仲原馬場、天然記念物の諸志御嶽の植物群落、天底のシマチスジノリ、今泊のコパティシ、名勝地運天港などが美しいカラー写真で紹介されており、

また、村行政の中心である庁舎や、それをとりまく建物、議会堂などが写し出され、その説明とともに今帰仁の地図などが描かれ、もし村外の人や県外の人がこのページを目にしたら一度は今帰仁を訪ねてみたいという思いにかられるほどの出来栄です。

今帰仁の歴史がわかりやすく書かれています

古い時代「山北」という呼び名の時代から、現在の今帰仁村となり、十九の字となるまでの流れが分ります。

また、沖縄戦の最中、激戦後の生活、そして復興しのための政治や時代の流れがわかりやす

くまとめられています。たとえば、一九四七年の村政委員会では次のような記録があります。

※分村に関する件  
略  
議長（村長）  
東部青年団ヨリ決議文ニ対シ、議長ノ下ニ米テキマスガ朗読シテヨイカ如何



見る思いがします。戦後から現在までの議案が一目瞭然です

村政委員会時代を経て、第一期議会（一九四八・昭二三）からの議員名簿、写真、議会活動（議案は全部、要請、決議、陳情案件等は抜粋）が第十一期議

この議会史を糸口に研究の夢を持って下さい

定められた期間内に、限られた紙面に膨大な記録の中から抜き出して記載するという作業は、生やさしいものではありませんでした。

そのため、内容では幾分突っ込みが足りない点もあります。それらの点はこれからの研究を待ちたいと思えます。その外に、要請や決議、陳情などを類別にまとめ、多方面からの視点で世相や政治の研究のきっかけとなれば幸いです。また、資料も明治二十年の「今帰仁間切内法」をはじめ、新しくは平成二年今帰仁村職員に至るまで記載してあります。

むすび

編集にあたっては村広報を担当された皆さんや学芸員の仲原弘哲さん、議会事務局の皆さんのお世話になりました。

編集委員長は山城辰雄、副委員長上里朝榮、委員上間仙信、嘉陽宗哲、山城金長、黒島直太、事務局長は上間正雄でした。

編集委員（編集企画・執筆）  
黒島直太  
村教育委員会委員

# 文化財保存調査委員に

## 山内・村上・玉城・安座間の四氏

去った八月三〇日、今帰仁村文化財保存調査委員条例（第三条「委員の委嘱」）に基づき、教育委員会（教育長西島一将）から、委員（今帰仁村文化財保存調査委員）への辞令交付が行なわれました。西島教育長から山内昌藤（謝名）、村上仁賢（兼次）、玉城三郎（越地）、安座間安史（謝名）の四氏へ委嘱状が授与され、その後、委員長（今帰仁村文化財保存調査委員会）に山内昌藤氏、副委員長（同副議長）に村上仁賢氏が選出されました。

山内、村上、玉城の三氏は、文化財保存調査委員として、これまで長年ご活躍、ご苦労されてこられました。今回、新しく安座間氏に加わり、自然の分野を含めてますます充実していくことが期待されます。文化財保存調査委員会は、月一回の定例会を開き活動していくことが確認されました。

また、村文化財担当者から、村の文化財指定や古宇利島の遠見台などについて調査していきたい旨の報告がありました。委



安座間安史氏 謝名5  
玉城三郎氏 越地133  
村上仁賢氏 兼次944  
山内昌藤氏 謝名136

員の方々の今帰仁村の文化や文化財等の調査・研究の成果が、多くの村民に活用されるよう期待されます。

# 村子ども会がリーダー研修会 石川少年自然の家



活発な活動を続けている村子ども会（大城洋子会長）では、八月十六日から十七日にかけて石川少年自然の家でリーダー研修会を開催。各字の子どもの会、小学五・六年生が四十一人参加した。

研修会は、友情を深めながらリーダーとしての心構えについて学び、それぞれの地域にもち帰り、より充実した子ども会活動を実践してもらおうと、村子供連絡協議会（三輪茂穂会長）と連携し計画したもので、社会教育課の職員三人も同行した。

初日は開講式に続き、初めてプレーするランドゴルフ、人間ピラミッドやクイズなどの室内レクリエーション、それにキャンドルサーブが行われた。二日目は石川岳の登山に挑戦途中の急坂やロープをつたって渡る難コースも息を弾ませながら、全員が無事、頂上に到達した。

あいにくの台風十二号の影響で野外でのテント設営やキャンプファイヤー、楽しみにしていた飯盒炊飯のカレーライスづくりが中止となり、子どもたちはとても残念がっていたが、新しい友情が芽生え、実り豊かな研修となった。

▲石川岳の頂上めざし、さあ出発！

今回のリーダー研修について今帰仁小学校の間めぐみさんは、「登山は急な坂や斜面が多かったです。頂上から石川の町や太平洋を





写真にみる今帰仁⑤

大正・昭和(戦前)の謝名の湧川家

今回の写真は、今帰仁村字謝名の湧川家(屋号イクマタ)の家族写真である。一家族の写真であるが、大正から昭和(戦前)にかけての今帰仁の一面をかいまみることができる。

山原の今帰仁村で大正時代、あるいは戦前期に写真を写し、そして残せた家は数少ない。当時、写真を写すことができたのは、経済力があり写真に関心のある方がいたからであろう。

湧川家は、明治から昭和(戦前)にかけて十名余りのインジヤックワ(奉公人)を使っていた、いわゆるウエーキ(富農)であった。

一枚目の上の写真は、大正八年(一九一九)正月の記念撮影である。子供たちの手にお年玉なのか、袋物やリングを持っての写真撮影である。湧川家は明治末に、すでに赤瓦屋根の家を建てており、写真の後方の茅葺屋根はメーヌヤ(前の屋)である。

後に立っている二人は、湧川喜福(明治十六年頃生)と喜幸(喜福の弟)である(以下敬称



▲大正8年(1919)の謝名の湧川家



▲昭和15年(1940)の謝名の湧川家

省略)。羽織袴に帯をしめ、明治人の気風が伺える。前列左からツル(南米へ移民)、喜正(明治四二年生)、高一(昭和十三年戦死)、カメ(喜福の妻)、ナエ、トキ、ウトである。子供を膝にのせているのはカメで、カンブーを結い琉装にゲタ履きである。隣のトキも、カンブーを結っているものの着物に帯は前

結びをしている。子供達の服装も男と女では異なり、喜正と高一は断髪をし、ツルとウトは髪を日本髪に結い袴姿である。昭和十五年の写真に、革グツやヒールなどがみえるが、大正時代の山原の湧川家には、まだクツが入ってきていなかったようである。前列をみるとゲタ履きと裸足があり、履き物は一般

的に裸足の時代であった。二枚目の写真も、同じ湧川家(イクマタ)の昭和十五年(一九四〇)正月の写真で、大正八年(一九一九)から二十一年後である。前列左から、ウト、キヨ、ハツ子、スミ子、ミヨ子、セツ子、後列左側からナエ、スエ子、ナヘ(喜正の妻)、カメ、喜福、喜正、高一である。二十年という一つの家族が、世代交代してしまいう時間である。喜正がナヘと結婚し、ミヨ子、セツ子、スエ子と子供をもうけ、湧川家も喜福から喜正へと世代交代しているが、喜福も健在で

あった(昭和四〇年に没す)。皆が並んだ後方には、赤瓦屋根の家があり、明治の末、国頭方面から材木を買い、斧で削りクギを使わず建てた家だという。その家は戦後も使われ、昭和五十年代に取り壊された。服装をみると、袴、制服(セラー服、ツメ襟)、洋服、背広あり、また履き物もゲタに足袋、クツやヒールに靴下を履き、さらにオカッパの髪型があり、一人一人の服装に時代が反映している。このような服装は、経済的に恵まれ、裕福であった湧川家の晴姿である。昭和とは言っても一般的には、まだまだ裸足の時代であった。服装は、明治の中頃から急速に大和風にならなくなっていったという。琉装から和装、さらに洋装へと変化していくが、二枚の写真にその変遷が写し出されている。

大正と昭和の二枚の写真をみると、ソテツ地獄(不況)や十五年戦争と呼ばれる時代がだぶってくる。このような社会の動きの中で、湧川家がどのように生きながらえ、そして今時大戦をどのようにくぐり抜けてきたのか、大きなテーマへ引き込まれていきそうである。

仲原弘哲 (歴史資料館準備室)

(歴史資料館準備室)

母親のよきパートナー 母子保健推進員

母子保健推進員が決まりました。母子保健推進員は家庭と行政を結ぶ大切な役割を担っています。日頃から役場の担当職員保健婦と密接な連携をとり、適切な指導と助言を受けるとともに、地域の母親の身近かな相談相手として、母と子の健康に関する問題などについて相談を受け、それを行政にも反映させていきます。お気軽にご相談下さい。

- ①健康診査の未受診者に対する受診のすすめ。
②妊娠届出のすすめ。
③母子保健関係の申請の相談指導。
④母子保健に関する問題点の把握、連絡。
⑤その他、予防接種、離乳食実習のすすめ。

新しく推進員になった方々



比嘉つよ子さん 金城 郁代さん 兼次タツ子さん 玻名城邦子さん 仲宗根ミサエさん 比嘉るり子さん

タックスコーナー 税について 考えてみませんか No.5

回は、個人村民税の非課税制度と所得控除についてお話しします。
人村民税においては、一定の所得金額以下の人には課税しないという非課税制度が設けられています。具体的には、次のようになります。

- 均等割も所得割もかからない
(ア)前年中に所得がなかった人
(イ)生活保護法によって生活扶助を受けている人
(ウ)障害者、未成年者、老年者、寡婦又は寡夫で前年の所得金額が一二五万円以下であった人
○均等割がかからない人
(ア)前年中の所得金額が村の条例で定める金額以下の人
(イ)夫婦が同じ市町村内に住んでおり、夫が均等割を納税しているときのその妻
○所得割のかからない人
前年中の所得金額が、三四万円に本人、控除対象配偶者及び扶養親族の合計数を乗じて得た金額(控除対象配偶者又は扶養親族がある場合は、その金額にさらに九万円を加算した金額)

以下の人
に、所得控除について説明しましょう。
所得控除は、納税者に配偶者や扶養親族があるかどうか。病気や災害などによる出費があるかどうかなどの個人的な事情を考慮して、その納税者の実情に応じた負担を求めると同時に所得金額から差し引くことになっているものです。
得控除の項目は、雑損控除、医療費控除、社会保険料控除、小規模企業共済等掛金控除、生命保険料控除、損害保険料控除、寄附金控除、障害者控除、老年者控除、寡婦(夫)控除、勤労学生控除、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除及び基礎控除の十五です。
偶者控除及び扶養控除の対象者は、所得金額が三五万円以下の配偶者及び扶養親族が該当します。この金額は、給与収入にしますと一〇〇万円になります。
配偶者及び扶養親族の所得金額が三五万円を超えた場合は障害者や未成年者、老年者であっても、控除対象配偶者及び扶養親族には該当しません。

母子保健推進員名簿

(平成2年度)

Table with 5 columns: Name, Address, District, Phone Number. Lists 20 members of the maternal and child health promotion staff.



# 学力向上対策視察研修報告

学校教育課 指導主事 諸喜田福康

このたび、学力向上対策のための視察研修を市内の小中高校の校長先生方八名と学校教育課の職員二名が、埼玉県入間市教育委員会、入間市立上藤沢中学校、入間市立豊岡小学校を訪問し研修をしてきました。その報告をいたします。

## 上藤沢中学校の状況

上藤沢中学校は、文部省指定道徳教育研究校である。研究テーマは、「人間としての生き方についての自覚を深め、思いやりがあつてたくましい生徒を育てる道徳指導」である。



▲視察研修の一行（入間市立上藤沢中学校にて）

研究組織は、実践研究部、授業研究部、調査・広報部の三つの部会と学校家庭連絡推進会議からなっている。実践研究部は、生徒会活動を通して、道徳実践の場面を保障して、学区内を中心とする地域の環境整備に積極的に取り組む市民清掃デーにも主体的に参加している。調査・広報部は、道徳教育実践後の生徒及び保護者の変容を把握するため、調査を実施しまとめる。広報誌「かがやき」を発行し、学校と家庭との連携を深め、家庭における道徳教育の啓発を促している。

## 道徳の研究授業

研究授業をした野口隆司先生は、三日前にも校内研究授業をしている。先生が、道徳の研究で大事にしていることは、①生徒一人一人の多様な考え方や意見を大事にして、共感的態度と受容的態度を聞くなど。

豊岡小学校は、県指定体力推進校である。研究の進め方として、自分で苦勞し、研究し、実践していくことを基本としている。授業に臨む前に教師が行っておくべきこととして、①集団行動や学習規律の徹底は早い時期に行い、継続的に指導していくことが大切である。②音楽の活用など他教科から活用できるものを多く採り入れ、授業の効率化を図る。

## 豊岡小学校の状況

研究授業をしていたのは、梅澤茂之先生で、梅澤先生が開発したストレッチ体操を準備体操で活用している。色んな機能の体操を組み合わせ、曲に合わせてリズムカルに体を動かして、踊り、跳ね、曲げる動作が次第に難度になり、ブリッジや倒立などかなり激しい運動を軽快にこなしている。狭い体育館で四〇名の児童が場所や用具の

安全を確かめつつ、自分を高めるための課題を設定し、それに向かつて学習する雰囲気、教えあい、励ましあつて練習する学級内の好ましい人間関係が醸成されている。集合、整列が機敏で時間的な無駄がない。諸注意や説明を聞く時の態度にけじめがあり、集中力がある。

## 今泉教育長の指導助言

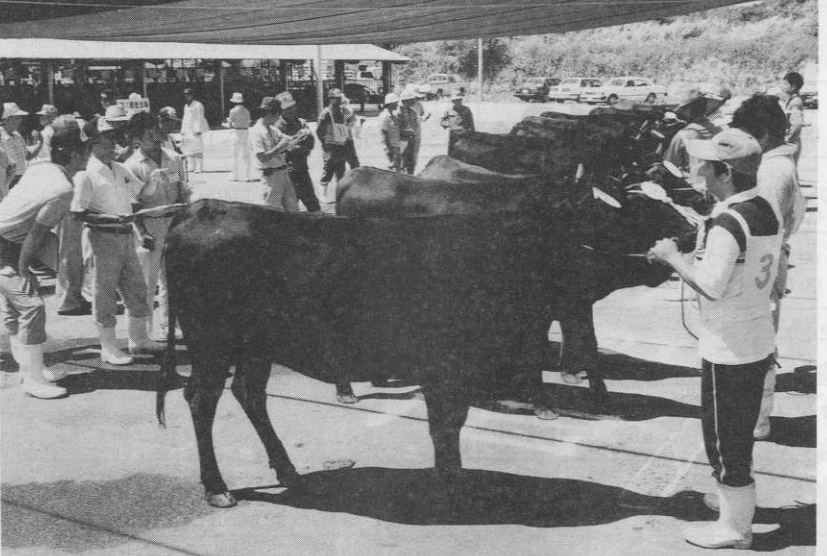
学校は理想を探究する場である。そこには、理想とする子ども像があり、学校教育目標がある。それを具現化するには、理想を語り合える場作り、子どもが語れる職員室があり、好ましい人間関係が醸成されていなければならない。校長のリーダーシップが職員員の経営参加意欲を湧きたたせ、やる気を引き出し、モラルを高める。まずは校長の教育理念が職員員の使命感につながる。そして、職員員の教育愛や児童愛が子どもへの健やかな成長につながる。話さずして「悪貨は良貨を駆逐する」とご自分の体験を通して教職員員の資質向上の大切さや方法等を述べられた。大変感銘を受けました。

# 自由化の波のなか前進する農家

好評を得た村畜産共進会

第十九回今帰仁村畜産共進会が九月十一日午前十時より村家畜セリ市場で開催された。

これは、畜産振興と優良家畜の育成のために行われたもので十月四日(休)午前九時三十分より村家畜セリ市場で開催される第十四回北部地区畜産共進会への派遣審査も兼ねている。当日は畜産農家ははじめ多くの村民の見守る中、北部家畜保健衛生所職員らにより厳正な審査が行われた。田場清善審査委員長(北部家畜保健衛生所長)は、審査報告の中で、「牛肉の輸入自由化が進むなかでも、家庭で消費される牛肉の約七十％は国内で生産されたものです。今後も国民の消費ニーズに合った畜産を推進すれば安心して経営を継続できると確信します。今日は優良な牛や豚が多



▲優良な家畜は北部地区畜産共進会に出品される

く出品されました。これからも全国に通用する畜産業の振興に取り組んでいただきたい」とのべた。なお、特別賞の沖縄県農林水産部長賞は、肉用牛経産二類の

部で優等の松田達男氏に、国頭農業共済組合長賞は、肉用牛経産一類の部で優等の仲里双徳氏村長賞は、種豚経産一・二類の喜屋武勇氏、村和牛改良組合長賞は、肉用牛未經産一類の平山良智氏にそれぞれ贈られた。

- 審査結果は次のとおり
- 肉用牛子牛
    - 去勢の部
      - 優等||当山清史(渡喜仁)
      - 一等一席||金城寛一(仲宗根)
      - 二等二席||伊野波盛達(今泊)
    - 肉用牛
      - 子牛(雌)
        - 優等||与那嶺繁正(渡喜仁)
        - 一等一席||与那嶺幸人(崎山)
        - 二等二席||松田則明(仲宗根)
  - 肉用牛未經産一類
    - 優等||平山良智(渡喜仁)
    - 一等一席||我那覇隆儀(謝名)
    - 二等二席||諸喜田清幸(玉城)
  - 肉用牛未經産二類
    - 優等||松田達男(仲宗根)
    - 一等一席||嘉数安喜(今泊)
    - 二等二席||仲原武一(謝名)
  - 肉用牛経産一類
    - 優等||仲里双徳(平敷)
    - 一等一席||仲宗根久善(謝名)
    - 二等二席||当山清儀(渡喜仁)
  - 肉用牛経産二類
    - 優等||松田達男(仲宗根)
    - 一等一席||謝花喜舜(越地)
    - 二等二席||松田平徳(仲宗根)
  - 種豚未經産一類
    - 優等||津波古充弘(湧川)
    - 一等一席||津波古充副(湧川)
  - 種豚未經産二類
    - 優等||喜屋武勇(渡喜仁)
    - 一等一席||喜屋武百合子(渡喜仁)
  - 種豚経産一・二類
    - 優等||喜屋武勇(渡喜仁)
    - 一等一席||照屋全道(渡喜仁)
    - 二等二席||喜屋武百合子(渡喜仁)
  - 種豚経産三類
    - 優等||具志忠吉(渡喜仁)
    - 一等一席||仲本達美(崎山)
    - 二等二席||津波古充副(湧川)
  - 種豚壯令雄二類
    - 優等||喜屋式百合子(渡喜仁)
    - 一等一席||仲本達美(崎山)
    - 二等二席||喜屋武勇(渡喜仁)

～聞かせて下さい県民の声～

- ◆あなたのひとことでスピード検挙
- ◆事件を知った時は、すぐ110番
- ◆被害にあった時は、すぐ届出を

～犯罪捜査にご協力を～

「見た・聞いた」  
あなたのひとこと、大きな手掛け

沖縄県警察本部

10月1日より開始

## 赤い羽根共同募金運動

だれもが安心して暮らせる  
福祉の村づくりに  
あなたのご協力を!

10月

神無月



●村民カレンダー

1990年

|        |   |        |   |
|--------|---|--------|---|
| 10/1 月 | ○国勢調査の日 法の日<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)                 | 17 水   | ○貯蓄の日<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)                             |
| 2 火    | ○手話サークル (19:30~21:00コミセン)<br>○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)                                 | 18 木   | ○DPT予防接種(13:00~14:00受付、コミセン)<br>○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)<br>○統計の日                           |
| 3 水    | ○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン)                                | 19 金   | ○1歳6ヶ月健診(13:00~14:00受付コミセン)<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)        |
| 4 木    | ○第14回北部地区畜産共進会<br>(9:30~家畜セリ市場)<br>○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)                           | 20 土   | ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)   |
| 5 金    | ○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)                                 | 21 日   | ○第16回老人婦人スポーツ大会<br>(9:00~村グランド)   |
| 6 土    | ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)<br>○国際文通週間  | 22 月   | ○おとば学園廃品回収の日<br>(9:00~12:00各字公民館)<br>○デイサービス (13:00~17:00コミセン)<br>○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン) |
| 7 日    | ○第45回今帰仁村陸上競技大会<br>(9:00~村グランド)   | 23 火   | ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)<br>○手話サークル (19:30~21:00コミセン)                                       |
| 8 月    | ○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)                                | 24 水   | ○兼次小家庭教育学級(20:00~22:00諸志公民館)<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)      |
| 9 火    | ○今帰仁小家庭教育学級(19:00~21:00今帰仁小)<br>○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)<br>○手話サークル (19:30~21:00コミセン) | 25 木   | ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)  |
| 10 水   | ○子豚セリ市 (13:00~家畜セリ市場)<br>○体育の日  | 26 金   | ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)<br>○子豚セリ市 (13:00~家畜セリ市場)<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン)              |
| 11 木   | ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)  | 27 土   | ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)<br>○読書週間  |
| 12 金   | ○天底小家庭教育学級(14:00~16:00中央公民館)<br>○高齢者学級 (14:00~16:00コミセン)<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン) | 28 日   | ○県スポーツカーニバル (9:00~29日まで、<br>北部地区中学校ホッケー大会、ホッケー場)<br>○国頭郡陸上競技大会(9:00~名護市宮陸上競技場)              |
| 13 土   | ○古宇利小家庭教育学級(13:30~15:30古宇利小)<br>○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)                             | 29 月   | ○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)                                      |
| 14 日   | ○鉄道記念日  | 30 火   | ○手話サークル (19:30~21:00コミセン)<br>○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)                                      |
| 15 月   | ○湧川小家庭教育学級(10:30~12:00湧川小中)<br>○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)  | 31 水   | ○デイサービス (10:00~17:00コミセン)<br>○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)                                      |
| 16 火   | ○3歳児健診(13:00~14:00受付、コミセン)<br>○牛のセリ市 (11:00~家畜セリ市場)<br>○手話サークル (19:30~21:00コミセン)      | 11/1 木 | ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)<br>○灯台記念日  |

めずらしい記事です。

加州毎日新聞の中の、

（日本特信）お湯屋のおかみさんの口のなかへ飛びこんだ、あわてものの雷さまがある。十三日の夕方七時ごろ豊島区日出町の一ノ七五、日出湯の煙突に落雷アンテナを傳わって、ラジオから飛び出したこの雷公、傍らに坐つていた女主人の香川ぎん（四六）さんの金歯にアツと間に飛びつき、キャツと気絶させたあげく、タタミに直径一寸の丸い焼穴をつくって床下へ逐電、ぎんさん上唇を少し引き裂かれただけで、奇蹟的に大したケガもなかったが「雷の味」と問われて「味よりもなにも目から火が出ただけですわ」これは、取材の合間にみつけた、一九四八年八月十九日（木曜日）のアメリカ、カリフォルニア州の

お湯屋の女主人の  
口中へ飛込んだ  
あわて者の雷さん

